



和歌山大学観光学部

広川町 Local Internship Program

— ツーギー谷のお花畑の活用を通じた津木地域の活性化を考える —



広川LIPの活動について

私たち広川町LIPは、広川町津木地区の「魅力発見」と「魅力発信」を目的に活動しています。津木地区寄合会の方々と連携して2014年から活動を続けています。今年で8年目になる広川町LIPは、今年度は1回生5名、2回生7名、3回生4名で活動に取り組みました。昨年に引き続き、広川町津木地区のお花畑の活用に関わることを目的としていましたが、新型コロナウイルスによる課外活動の制限により、現地での十分な活動を実施することが困難でした。今年度はオンライン上や学内での会議の活動がメインでしたが、GGPへの出店と現地訪問から得た経験を今後の活動に生かせるようにしていきたいです。



広川町は和歌山県中部に位置し、海・山・川という自然に恵まれた地域です。観光客は、春は桜、初夏にはホテルの美しい光景を観に訪れます。沿岸の地域は、津波防災に関する「稲むらの火」や濱口梧陵ゆかりの地として知られており、近年は「日本遺産」に認定され、注目を集めています。

2021年度活動報告

事前学習

広川町LIPの活動地域である広川町・津木地区についての事前学習を行いました。今年度から参加した1年生・2年生が主体となって、広川町、津木地区の2つのチームに分かれ、それぞれ対象地域について調べたことをまとめて発表を行いました。この発表は新メンバーのみならず、既存メンバーの地域に関する知識の確認にも役立ちました。現地訪問が十分にできない中、地域についての基本的な知識を得て、地域に関心を持つことを目的に行いました。調べ学習を行う中で地域への興味が増し、現地訪問を行いたいという気持ちが強まりました。

GGP

広川町LIPとして、市駅「グリーングリーン」プロジェクト（GGP）に出店させていただきました。広川町津木地区の特産品の販売・子供向けの体験イベントを実施しました。特産品の販売では、津木地区で採れた葉草を使用したお茶や「露茜」と呼ばれるスモモと梅の交配種を使用した「露茜ジャム」の販売を行いました。特に露茜ジャムは大人気で、完売でした。子供向けの体験イベントでは、手形アートとぶんぶんゴマのブースを作り、学生が作り方を説明した後、子供たちの自由な発想でお絵描きをしてもらいました。物販も体験イベントも今年度初の対面での大きな活動だったため、イベント後には達成感を得ることができました。GGPに出店した経験が、今後このようなイベントを再び行いたいという思いにつながりました。

現地訪問

今年度は、広川町への現地訪問を1回実施しました。新型コロナウイルスの影響で現地訪問を行う機会が無く、新メンバーにとっては初めて、既存メンバーにとっては久しぶりの現地訪問でした。今回の訪問では、広八幡神社・稲村の火の館・耐久社・広村堤防を順番に回り、事前学習でも調べた場所に実際に訪問しました。稲村の火の館では、津波にまつわる展示やビデオを見て、津波がもたらす被害の大きさを感じるとともに、濱口梧陵の偉大な功績についても知ることができました。広村堤防には、松の木がたくさん植わっており、これも広川町における津波への対策であることを実際に目で見て確認することができました。次年度は、現地訪問をもっと頻繁に行い、広川町地域の方々と協力して様々な活動を行いたいと感じました。

また、現地訪問の際に撮影した写真を「エモイ町湯浅広川フォトコンテスト」に応募しました。広川町LIPが撮影した写真は、風景部門「優秀賞」を受賞しました。

2021年度 スケジュール

- 6月 新メンバー顔合わせ(Zoom)
- 7月 事前学習
- 8月 寄合会の方との顔合わせ(Zoom)
- 10月 GGP
- 11月 現地訪問
- 12月 フォトコンテスト



(左：現地訪問での写真, 右：優秀賞を受賞した写真)

Instagram : @hirogawa_lip #inamura_fire

HIROGAWA-LIP